



葛飾区役所 危機管理課様



危機管理課 加藤様と 専門員 菊川様



ハザードトーク
HT906M



ハザードトーク
HTデイリー



デイリー
オリジナルカバー

■導入のきっかけは

現在、運用している移動系の防災無線では、使用エリア（区内）に限られる事やアンテナの設置が必要でした。また、建物や地下では使用できなく、通話場所が限定されていました。災害時において全てを言葉で伝えるのは難しいため、画像や映像データ、拠点情報も共有できる、ハザードトークを採用しました。



ハザードトーク
HTタブレット(本部用)

＜ご利用状況 ハザードトーク＞
 HTデイリー 250台（各拠点）※1
 HT906M 30台（対策本部）※2
 HTタブレット 1台（本部使用）※3
 ※1:デイリーライト（データ上限2GB+外線通話機能）
 ※2:マスタープラン
 ※3:デイリーライト（データ上限2GB付）

- ☑ 災害無線機能
- ☑ ハザードフォトス
HAZARD PHOTOS
写真動画共有システム
- ☑ デュース
DEWS 緊急災害情報受信サービス
- ☑ 拠点集計機能
- ☑ 050 plus ※1
IP電話サービス

■ハザードトークの使い方

ハザードトークの導入により使用エリアが広がるため、災害協定自治体や協定団体に幅広く設置し、災害時に重要である情報連携、伝達及び連携を強化しています。

また、日常においては、多くの機能を使った防災訓練のほか、設置機関との訓練も実施したい。



操作説明会の風景

【葛飾区役所様 公共機関事例】

幅広い関係各所への配布で情報連携

葛飾区役所様では、区内の避難所（小学校等）や自治会、消防署だけではなく、姉妹都市や災害時協定団体/企業、公共インフラ機関の皆様などに**幅広く ハザードトークの配布を行い、今後の首都圏直下地震等の災害時に円滑な情報連携**をできるよう備えられています。

■葛飾区役所でのご利用例 災害ホットライン



[拠点配備]



[公用車配備]



[電源確保]

つながる安心

関係各所へは、ハザードトークデイリーを配布！
 公用車へは、移動も考慮し、HT906M（車載クレードル、スピーカーマイク）を配備！